

日本共産党 姫路市会議員団

市会報告 2020年 第2回定例会

議員団控室 姫路市安田4-1 TEL 221-2046 FAX 284-5890

メール info@jcp-himeji.com

共産党姫路 検索



谷川
まゆみ

谷川まゆみ 検索

ブログ



森
ゆき子

森ゆき子 検索

ブログ



苦瓜
かずしげ

苦瓜かずしげ 検索

ブログ



村原
もりやす

村原もりやす 検索

ブログ

新型コロナ感染から 市民の命と暮らしを守るために

新型コロナウイルス感染から人々の命と暮らしを守ることが、国と地方自治体の最大の責務となっています。憲法25条「生存権」を保障する立場から、以下の3項目について質問しました。



4月30日 臨時議会開催

基金を取り崩し

独自支援策を

4月30日に市議会臨時会が開かれ、コロナ禍の下、第1弾の緊急経済対策として、1人10万円の特別定額給付金などを含む補正予算を可決しました。

しかし、その財源は国からの資金だけで、市の貯金である財政調整基金を全く使わず、市民の期待に十分応えた補正予算になっていません。近隣市町がいち早く生活困窮世帯などへの現金給付などの支援策を打ち出しているように、基金を取り崩して、第2弾、第3弾の独自支援策を一刻も早く打ち出すよう求めました。



村原もりやす議員

保健所の体制強化を

村原議員:発熱症状が出ていてもPCR検査を受けるには高い壁がある。第2波に備えるためにも検査体制の拡充が必要ではないか。

答弁:現在PCR検査は保健所内の環境衛生研究所で1日40検体、民間で40検体合わせて80検体行える。今後医師会と協働して検査受け入れ可能数が増大する見込みとなっている。

村原議員:姫路市は1999年に3カ所あった保健所が国の行革により1カ所になっている。今後に備えて保健師等の人材確保・育成のため、また責務に応じた予算確保の必要があるのではないか。

答弁:相談体制や検査体制の充実を図り必要な体制強化に向け検討する。

正規の国民健康保険証を

全ての加入者に届けよ

村原議員:現在姫路市の国保加入者世帯は69,660世帯で資格証明書は1,096世帯、短期保険証は2,318世帯、留置きは605世帯となっている。国民皆保険制度のもと必要な人が必要な医療を、お金の心配なく受けられるように、正規の保険証を交付し、医療の安心を届けることが必要ではないか。また、コロナ禍による保険料の減免制度があることを加入者に積極的に知らせ、簡素な手続きで申請できるようにすべきではないか。

答弁:減免申請は現状で30%以上収入が減少していれば減免を行い、年度を通し回復しても追加で賦課はしない。広報して周知していきたい。

事業者さらなる支援を

村原議員:姫路市は緊急経済対策として、県の休業要請に協力した事業者に対して家賃等の支援に10万円、加えて賃借以外にも20万円を支援している。しかし、休業要請対象事業者以外の事業者も減収しており、支援が必要ではないか。

答弁:これまでの国・県・市の支援、また国の第2次補正を踏まえて、これらを検討していきたい。

特別号を持って商店街を訪問「お困りごとはありませんか？」



各店舗に支援策を案内する議員団

私たち共産党議員団は、コロナ禍に対する事業者への国、県、市の各支援策を分かりやすく一覧表にした「市会報告特別号(議員団発行)」や「姫路の飲食店を応援しよう」のチラシを持って、3回にわたり商店街を訪問しました。兵庫県の休業要請にもとづく自粛によって、各店舗の売上が大きく減少しています。「コロナの関係でお困りご

はありますか?」と各店舗に声を掛けながら、県の「休業要請事業者経営継続資金」やテイクアウト事業者支援、市の「休業要請等協力事業者支援金」や「飲食店応援事業」等の案内を行いました。

既にご存知の店舗もありましたが、「ありがとうございます。早速、申込みます」と喜んでいただきました。今後も各事業所等の声を聞きながら、経営が継続できるよう全力で応援していきたいと思



森ゆき子議員

新型コロナ等感染拡大に対応した避難所体制を

森議員：台風や集中豪雨に備え、喫緊の課題である新型コロナ等感染症拡大に対応した避難所の体制を求め、①国が通知した「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応」について②段ボールベッドと仕切り、消毒液・マスク・防護服の備蓄計画について市の対応を問いました。

答弁：①これまでと大きく変わる避難体制について全戸回覧やホームページで適切な避難の周知をはかるとともに職員の研修も行う。避難所マニュアルの改訂作業を進める②段ボールベッドや仕切りについては感染防止策として有効であり、すみやかに調達し活用していく。またマスクなどは兵庫県と連携し一定程度の備蓄を確保し、民間企業との供給面の連携についても研究していく。

子どもたちに食の確保を

森議員：小・中学校の長期臨時休業による授業の遅れは、夏期休業（夏休み）の短縮で対応します。しかし、その期間小・中学校での給食は実施されません。7月16日から9月2日まで1か月半もの間給食が未実施となります。その理由は自校方式の給食調理室にエアコンが設置されておらず、調理員の熱中症や食中毒への対策ができないためです。小野市では夏期休業の授業振替の間、給食を無料で提供。福崎町では半年間の給食費無料、お弁当券の配布をする自治体もあり、コロナ禍における子どもたちの食の確保に小野市など他市町では尽力していることから、①姫路市でもせめて7月末までの給食の実施を②早急に調理室へのエアコンを設置するよう求めました。

答弁：①食中毒の可能性を考慮し、夏期の給食は行わない②エアコンの設置については今後検討していきたい。

自校給食調理室のエアコン設置状況（県内の主な市）

姫路市	神戸市	明石市	尼崎市	西宮市
なし	あり 40校 なし128校	あり 11校 なし 18校	1/3あり	1/3あり
加古川市	高砂市	相生市	芦屋市	たつの市
あり	あり	あり	あり	なし

姫路市教育委員会資料より抜粋

ICT教育で環境格差による教育格差をうまないこと

森議員：姫路市では学校教育の情報化推進と、コロナ禍における長期学校臨時休業の対策として、最大限のICT活用で子どもたちの学びの機会を保障する環境整備を進めています。しかし、ネットやタブレットを活用した授業でトラブルが生じると、教職員は対応に手をとられ、十分に子どもと向き合い、授業を進めることができません。そこで、子どもたちの学びを保障するために①トラブルに対応できるICT支援員やICT導入に携わるGIGAスクールサポーターの体制を強化すること②分散登校により、子どもたちの様子をしっかりとみることができた現場の声を受け止めて、少人数学級の実施を求めました。

答弁：①教職員の在宅勤務やオンライン学習支援のサポートとしてICT支援員が活動しており、さらに需要拡大への対応が必要と考えている。②少人数学級については、1クラス規模の問題が浮き彫りになったと捉えている。



● 市民に寄り添った補正予算を！ ●

姫 路市はコロナ禍に伴う補正予算を、4月30日の臨時会で第1弾を、続いて定例会の初日6月4日に第2弾を、そして、定例会中に第3弾、第4弾を出しました。第1弾と第4弾は、国の補正予算に伴うもので、ほぼ姫路市の一般財源は入っていません。第2弾、第3弾でようやく財政調整基金を30億円弱取り崩し、県の休業要請等に協力した事業所へ

の家賃等の補助や学生（大学、専門学校等）への奨学金の給付、妊産婦とパートナーへのPCR検査、新型コロナ感染患者を受け入れた医療機関への支援、水道の基本料金6か月免除などの姫路市としての独自支援が示されました。しかし、ひとり親家庭や子育て家庭への支援策が不十分です。引き続き、市民に寄り添った独自支援策を求めていきます。

力を合わせ頑張ります

所属の常任委員会が変わりました

団長 谷川まゆみ

● 経済観光委員会

幹事長 森ゆき子

● 総務委員会

団員 苦瓜かずしげ

● 文教・子育て委員会
● 議会運営委員会

団員 村原もりやす

● 厚生委員会
● 姫路福崎斎苑施設事務組合議会議員